

『白氏文集』卷十六「東南行」校記

An Annotated Report of "Tonan-ko", Volume 16 of Hakushi-bunshu
SUMIYOSHI Tomohiko

住吉朋彦

前言

白居易の百韻詩「東南行」は『白氏文集』卷十六の首に収めるが、この巻には旧鈔本を完備せず、僅かに『管見抄』の抄出十二句（第百五十九至百七十）を見るのみで、当初の面目を伺うことが難しかった。一方、元和四年跋古活字刊行、いわゆる那波本の卷十六を見ると、幾つかの伝本では旧本との校注や移録が見られ、江戸前期以前に於ける旧鈔本の伝存を伺わせ、殊にその第六十三、六十四、六十六、百、百二、百四句後に、那波本や朝鮮本、宋明版以下の本文には見えない、自撰と思われるき夾注の存したことが知られていた。しかしその本文は何といつても近世の伝写であり、相互に異なることから、一定の疑いを存していた。ところが近年、宮内庁書陵部に於いて整理を進める九条家旧蔵資料の残簡類の包みより、「東南行」の残簡が発見された。当該の資料は、縦二七・八糎、横五五・四糎と大振りの斐紙に墨界を施し、字面高さ約二一・九糎、一紙に対し二十四行、毎行十五字の、鎌倉初期と思われる

筆跡で書写されている。稿者は既に資料紹介「九条家本『白氏文集』卷十六残簡」（『書陵部紀要』第六十五号、二〇一四）を記し、解題とともに翻字と書影を掲載した。

この資料は、中央に大きな損傷があつて惜しまれるが、第四十九から百十までの六十二句中の二百三十九字と、中間に小字双行の自注七条、百三十八字を存し、該本を那波本や宋明版に比べると有意の異文が含まれ、大まかに言つて那波本中幾つかの伝本の校注に合致する。また自注七条のうち、最後の一条を除く六条は諸本に見えず、那波本欄外の移録にほぼ一致する。これにより「東南行」の校勘資料を加えた他、那波本等、版本への移録の一部に旧鈔本を伝えることが証明された。

そこで本稿では、現段階の校勘資料を集め、「東南行」の本文を俯瞰し検討するための校記を作り収録した。以下、凡例と本文に拠られたいが、対校の的本は那波本とし、校勘の便宜を考え、資料を旧鈔本、那波本移録、朝鮮本、宋明版の四種に分けて標示した。このうち、宋紹興刊本のみは、中国国家図書館蔵本の影印を使用した。また明版以下は代表

的な版種に止めた。これにより、完全な旧鈔本を持たない『白氏文集』の諸巻に於いて、那波本を含む諸本移録の文字に、旧本再構のための足がかりが含まれることが示されている。また書目を限らず、広く古活字本や明版の移録にも、なお旧本の痕跡が求められることを附言し、日本漢籍史上の価値を強調したい。

(凡例)

掲出の本文は日本元和四年跋刊古活字本（那波本）に拠り、毎句にアラビア数字を冠し、その順位を示した。採用の字体は、UNICODE(UTF8)の範囲で底本の近似体を選び、これを得ない場合は、同字の正体を用いた。

毎句の後に諸本の異同を、四欄に分けて表示した。第一欄には旧鈔本、第二欄には那波本書入、第三欄には朝鮮本、第四欄には中国刊行の宋明版を掲げた。

各欄の注記に使用した伝本の略号は以下の通りとし、本文の欠逸は「(一)―」符の形で示した。

- (一) 旧鈔本 九…九条家旧蔵〔鎌倉初〕写本
管…国立公文書館蔵〔鎌倉〕写本『管見抄』採録本
- (二) 那波本移録 書…宮内庁書陵部蔵本
東…東京国立博物館蔵本
東別…同後補別筆
蓬…名古屋市蓬左文庫蔵本
歴…国立歴史民俗博物館蔵本
歴別…同後補別筆
- (三) 朝鮮本 甲…宮内庁書陵部蔵朝鮮刊甲辰字本
木…慶應義塾大学斯道文庫蔵朝鮮刊木版本
紹…北京中国国家図書館蔵宋紹興間刊本（影印）
- (四) 宋明版

嘉…宮内庁書陵部蔵明嘉靖間刊本
萬…慶應義塾大学斯道文庫蔵明萬曆間刊馬元調校本
対校本に夾注のある場合、その旨を校注に記し、次行に（注）と標記してその本文を掲げ、末尾に所拠伝本の略号を附記して、その次行には他本の異同を注記した。

東南行一百韻寄通州元九侍御澧州李十一舍人果州崔二十二使君開州
韋大員外庾三十二補闕杜十四拾遺李二十助教員外竇七校書

(一) 管行下有詩、澧以下代等 (二) 書行下有詩

- 1 南去經三楚 (一) |
- 2 東來過五湖 (一) |
- 3 山頭看候館 (一) |
- 4 水面問征途 (一) |
- 5 地遠窮江界 (一) |
- 6 天伍極海隅 (一) |
- 7 飄零同落葉 (一) |
- 8 浩蕩似乘桴 (一) |
- 9 漸覺鄉原異 (一) |
- 10 深知土產殊 (一) |
- 11 夷音語嘲啞 (一) | (四) 嗜嘉萬作晰
- 12 蠻態笑睢盱 (一) |
- 13 水市通闌閩 (一) |
- 14 煙村混舳艫 (一) | (三) 村甲作林
- 15 吏徵魚戶稅 (一) | (三) 魚木作漁
- 16 人納火田租 (一) |
- 17 亥日饒蝦蟹 (一) |
- 18 寅年足虎羆 (一) |
- 19 成人男作卵 (一) |
- 20 事鬼女爲巫 (一) | (四) 事嘉萬作似
- 21 樓閣攢猶婦 (一) |
- 22 隄喧蔟販夫 (一) | (四) 販嘉萬作貶
- 23 夜船論鋪賃 (一) |

- 24 春酒斷甌沽 (一) |
- 25 見果多盧橘 (一) |
- 26 聞禽悉鷓鴣 (一) |
- 27 山歌猿獨叫 (一) |
- 28 野哭鳥相呼 (一) |
- 29 嶺微雲成棧 (一) |
- 30 江郊水當郭 (一) |
- 31 月橋翹柱鶴 (一) |
- 32 風帆颭檣烏 (一) | (三) 帆甲木作汎 (四) 帆紹嘉萬作汎
- 33 鼇礙潮無信 (一) |
- 34 蛟驚浪不虞 (一) |
- 35 鼉鳴泉窟室 (一) | (三) 鼉木作鼉 (四) 鼉嘉萬作鼉
- 36 蜃結泉浮圖 (一) | (二) 東有「右一紙新點」注
- 37 樹裂山魃穴 (一) |
- 38 沙含水弩樞 (一) |
- 39 喘牛犁紫芋 (一) |
- 40 羸馬放青菰 (一) |
- 41 繡面誰家婢 (一) |
- 42 鷓頭幾歲奴 (一) |
- 43 泥中採菱芡 (一) |
- 44 燒後拾樵蘇 (一) |
- 45 鼎膩愁烹鼈 (一) |
- 46 盤腥厭膾鱸 (一) |
- 47 鐘儀徒戀楚 (一) |
- 48 張翰浪思吳 (一) |
- 49 氣序涼還熱 (一) |
- 50 光陰且復晡 (四) 且紹作且

51	身方逐萍梗	
52	年欲近桑榆	
53	渭北田園廢	
54	江西歲月徂	(三) 月甲作日
55	憶歸恒慘澹	(一) 澹九作檐
56	懷舊忽踟躕	
57	自念咸秦客	
58	嘗爲鄒魯儒	
59	蘊藏經國術	
60	輕棄度關繻	
61	賦力凌鸚鵡	
62	詞鋒敵輓轡	(一) 敵九作敲 (二) 敵東或作敲、蓬敲
63	戰文重掉鞅	(一) 九有注 (二) 書蓬同
64	射策一彎弧	(一) 九有注 (二) 書蓬同
	(注) 謂十六年予進士出身十八年又拔萃及第(九)	
	(注) 二十一年又應制一上登科(九)	
65	崔杜鞭齊下	二十一書作二十
66	元韋轡並驅	(一) 九元韋破、有注 (二) 書東蓬同
	(注) 予與崔廿二杜十四同進士元九韋大同制科也(九)	
	二書作三、書東蓬同下有年、書蓬士下有與、書東蓬無也	
67	名聲逼楊馬	(一) 九馬破
68	交分過蕭朱	(一) 九交至蕭破
69	世務經磨搗	(一) 經磨九作私摩 (二) 經磨書私摩イ、蓬私摩 (四) 經嘉萬作輕
70	周行竊覬覦	(一) 九竊至覦破
71	風雲皆會合	(一) 九破
72	雨露各霑濡	(一) 九雨破、霑九作沾
73	共偶昇平代	(一) 九破
74	偏慙固陋軀	(一) 九偏破
75	承明連夜直	
76	建禮拂晨趨	(一) 九禮至趨破
77	美服頒王府	(一) 九美至王破
78	珍羞降御厨	(一) 九珍羞破
79	議高通白虎	(一) 九高至虎破
80	諫切伏青蒲	(一) 九破
81	栢殿行陪宴	(一) 九栢破
82	花樓走看酺	(一) 九破
83	神旗張鳥獸	(一) 九破
84	天籟動笙竽	
85	丸劍星芒耀	(一) 九耀破 (二) 耀書一作躍、東蓬或作躍 (四) 丸萬作九
86	魚龍電策驅	(一) 九破
87	定場排漢旅	(一) 旅九作偃 (二) 旅書一作偃、蓬或作偃
88	促座進吳歛	(一) 九吳歛破 (四) 座嘉萬作坐
89	縹緲疑仙樂	(一) 九縹、仙破
90	嬋娟勝畫圖	
91	歌鬢伍翠羽	(一) 九伍至羽破
92	舞汗墮紅珠	(一) 九舞汗破
93	別選閑遊伴	(四) 閑嘉萬作間
94	潛招劇飲徒	(一) 劇九作小、九飲徒破 (二) 劇書一作小、東蓬作小 (三) 劇甲作小 (四) 劇紹嘉萬作小
95	一盃愁已破	(一) 九一破 (四) 盃嘉萬作杯
96	三盞氣彌羸	

- 97 軟美仇家酒 (一) 九仇至酒破
- 98 幽閑葛氏妹 (一) 九妹破 (二) 葛書一作萬、蓬作萬
(三) 妹甲作妹 (四) 閑嘉萬作間
- 99 十千方得斗 (一) 九十破
二八正當壚 (一) 九有注 (二) 書東蓬同 (四) 壚萬作壚
(注) 仇家萬妹皆當時事也 (九)
家書東蓬作酒、萬東作葛、東蓬無也
- 100 論笑杓胡碑 (四) 碑嘉作律
- 101 談憐鞏囁囁 (一) 九有注 (二) 書東蓬同
(注) 李十一杓直性多可不持確論故衆号为胡碑王寶七鞏善談諠而
口微吃衆或呼為吃鞏 (九)
書無衆、律書作律、書東蓬而下有礫
- 102 李酣尤短寶 (一) 寶九作品 (二) 寶書一作品、蓬作品
(四) 尤嘉萬作猶
- 103 庾醉更薦迂 (一) 九有注 (二) 書東蓬同 (三) 醉甲作酣
(注) 李廿身軀短小庾三十三神兒迂徐每因醉中各滋本態當時亦因
為短李薦庾 (九)
三十東蓬作卅、各書作名
- 104 鞍馬呼教住 (四) 鞍嘉作案
- 105 散盤喝遣輸 (一) 散九作頭、喝九作唱 (二) 散書蓬作頭、喝書蓬
作唱
- 106 長驅波卷白
- 107 連擲采成虛 (一) 九有注 (二) 書東東別蓬歷別同 (四) 紹嘉萬同
(注) 頭盤卷白波卷莫走鞍馬皆當時酒令 (九)
頭東別歷別紹嘉萬作散、書東東別蓬歷別紹嘉萬無下卷、
東無莫走
- 108 籌併頻逃席 (一) 席九作箭 (二) 席書一作箭、蓬作箭
- 109 觥巖別置孟
- 110 滿卮那可灌 (一) |
- 111 頽玉不勝扶 (一) |
- 112 入視中樞草 (一) |
- 113 歸乘內厩駒 (一) |
- 114 醉曾衝宰相 (一) |
- 115 驕不揖金吾 (一) |
- 116 日近恩雖重 (一) |
- 117 雲高勢却孤 (一) |
- 118 翻身落霄漢 (一) |
- 119 失脚到泥塗 (一) | (四) 到嘉萬作倒
- 120 博望移門籍 (一) |
- 121 潯陽佐郡符 (一) | (二) 書東別蓬有注 (四) 紹嘉萬同
(注) 予自太子贊善大夫出為江州司馬 (書)
- 122 太東別作大
- 123 時情變寒暑 (一) |
- 124 世利筭錙銖 (一) |
- 125 即日辭雙闕 (一) |
- 126 明朝別九衢 (一) |
- 127 播遷分郡國 (一) |
- 128 次第出京都 (一) | (二) 書東別蓬有注 (四) 紹嘉萬同
(注) 十年春微之移佐通州其年秋予出佐潯陽明年冬杓直出牧澧州
崔二十二出牧果州韋大出牧開州 (書)
潯蓬作尋、直嘉作■、二十蓬作廿、東別無二十二、果東
別作久口、蓬無大下出
- 129 秦嶺馳三驛 (一) |
- 130 商山上二邗 (一) | (二) 書東別蓬有注 (四) 紹嘉萬同

- 131 峴陽亭寂寞 (一) — (四) 峴嘉萬作崑
路東別紹嘉萬作道中、邦蓬紹嘉萬作邗、東別作邗路
(注) 商山險路有東西二邦(書)
- 132 夏口路崎嶇 (二) —
大道全生棘 (二) —
中丁盡執爨 (二) —
江關未徹警 (二) —
淮寇尚稽誅 (二) — (二) 書東別蓬有注 (四) 紹嘉萬同
(注) 時淮西未平路經襄鄂二処所見如此(書)
- 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142
- 林對東西寺 (二) —
山分大小姑 (二) — (二) 書東別蓬有注 (四) 紹嘉萬同
(注) 東林西林寺在廬山北大姑小姑山在廬山南彭蠡湖中(書)
- 廬峯蓮刻削 (二) —
大嘉作太、紹嘉萬無姑下山
湓浦帶縈紆 (二) — (二) 浦書一作水、書蓬有注 (四) 紹嘉萬同
(注) 蓮華峰在廬山北湓水在江州城南河遊諺云湓城對湓水縈如湓水帶(書)
- 華東別紹嘉萬作花、東別紹嘉萬無州、河遊諺蓬紹作何遜詩、
河遊諺云湓城東別作以江城、嘉萬作何■詩、縈如湓水
蓬東別紹嘉萬作湓水縈如帶
九派吞青草 (二) — (二) 書蓬有注 (四) 紹嘉萬同
(注) 潯陽江九派南通青草洞庭湖(書)
- 淨蓬作尋、江萬作在
孤城覆綠蕪 (二) — (二) 覆蓬苦々、書蓬有注(四) 紹嘉萬同
(注) 南方城壁多以草覆之見楚辭(書)
紹嘉萬無之見楚辭、蓬無見楚辭
- 143 黃昏鍾寂寂 (二) — (四) 鍾嘉作鐘
清曉角鳴鳴 (二) — (三) 曉角甲作角曉
春色辭門柳 (二) —
秋聲到井梧 (二) —
殘芳悲鷓鴣 (二) — (二) 蓬有注 (四) 紹嘉萬同
(注) 音弟決見楚詞(蓬)
- 弟紹嘉萬作啼、萬無見楚詞三字
- 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167
- 暮節感茱萸 (二) —
藥坼金英菊 (二) — (四) 坼嘉萬作拆
花飄雪片蘆 (二) —
波紅日斜沒 (二) —
沙白月平鋪 (二) —
幾見林抽筍 (二) — (四) 筍嘉萬作笋
頻驚鷺引鷓 (二) — (四) 鷺嘉萬作燕、鷓嘉萬作雛
歲華何倏忽 (二) —
年少不須臾 (二) —
眇默思千古 (二) —
蒼茫想八區 (二) —
孔窮緣底事
顏天有何辜
龍智猶經醢
龜靈未免劓
窮通應已定
聖哲不能逾 (二) 逾管作踰
况我身謀拙
逢他厄運拘 (二) 拘管作物
漂流隨大海

168 鉅鍛任洪爐
 險阻嘗之矣
 169 栖遲命也夫
 170 沈冥消息氣
 171 窮餓耗肌膚
 172 防瘴和殘藥
 173 迎寒補舊襦
 174 書牀鳴蟋蟀
 175 琴匣網蜘蛛
 176 貧室如懸磬
 177 端憂劇守株
 178 時遭人指點
 179 數被鬼挪揄
 180 兀兀都疑夢
 181 昏昏半似愚
 182 女驚朝不起
 183 妻恠夜長吁
 184 萬里拋朋侶
 185 三年隔友于
 186 自然悲聚散
 187 不是恨榮枯
 188 去夏微之瘡
 189 今春席八俎
 190 天涯書達否
 191 泉下哭知無
 192 (注) 去年開元九瘴瘡書云竟未報今春聞席八歿久而還往能無慟乎

(一) 遲管作遲
 (二) 遲歷作遲イ
 (一) 室書一作活、東蓬作活
 (一) 人蓬客イ、指書難イ、指點蓬答イ難イ
 (一) 似嘉萬作是
 (一) 侶書蓬作執
 (一) 紹嘉萬同

(書)
 開東別蓬紹作聞、歷別嘉萬作問、東別嘉萬無瘡、歷別無瘡書云竟未報今春九字、云東別紹嘉萬作去、竟未報東別作不來、蓬八下有亡、歿嘉萬作俎、歿久東別歷別作俎哭、而蓬紹嘉萬作与、而還往能無慟東別歷別作不聞、乎東別歷別紹嘉萬作矣

193 謾寫詩盈卷 (一) |
 194 空盛酒滿壺 (一) |
 195 只添新惆悵 (一) | (二) 惆蓬悵 (三) 惆木作悵 (四) 惆紹嘉萬作悵
 196 豈復舊歡娛 (一) |
 197 壯志因愁減 (一) |
 198 衰容與病俱 (一) |
 199 相逢應不識 (一) |
 200 滿頷白髭鬚 (一) |

(慶應義塾大学附属研究所斯道文庫、国立歴史民俗博物館共同研究員)
 (二〇一四年七月二八日受付、二〇一四年九月二九日審査終了)